



No.197 2017年10月号

発行 日本共産党 小矢部市委員会 小矢部市七社 245 砂田喜昭 TEL 67-4322 FAX 67-4842



# 「森友・加計疑惑」隠し解散に 市民の怒り

臨時国会開会日の冒頭解散に、市民の批判が寄せられています。

☆「森友・加計疑惑」から逃れたいだけだ！  
☆「お友達」に便宜を図ったこれほど酷い国政の私物化は許せない！

日本共産党の志位委員長は9月25日、「国会で代表質問、予算委員会を、しっかり時間をとって行う。そして一連の国政私物化疑惑の究明をしっかりとやる。当面の国政上の問題についても議論をやった上で、国民に審判を仰ぐ、これが筋だ」と述べました。

## 国民の要求を「人質」に取った 「10%増税宣言」

安倍総理の「消費税を10%に上げるさいに、その使い道の一部を教育や子育てに」との発言について、志位委員長は「教育や子育てという国民多数の切実な願いをいわば『人質』に取る形で、二度も延期を余儀なくされた消費税10%を今度こそ国民に押しつけようというものだ」と批判しました。

また負担を求めるのであれば、『アベノミクス』で大もうけをしている富裕層や大企業に、もうけ相

## 払える国保税に

砂田市議 国保の構造が変化し、無職や年金暮らしの人が多数となった。1991年と2014年を比較して、国保世帯の所得が276.5万円から144.4万円に半減しているのに、国保税が一人あたり6万5284円から9万3203円と、1.43倍になっている。

健康保険税の負担能力が弱い方の加入割合が高く、年齢構成や医療水準が比較的高いことから所得に占める保険税の負担が被用者保険と比べて重いなどの構造的な問題を抱えている。国は平成27年度から低所得者対策について公費を拡充するとともに、平成30年度に実施される保険者の

広域化は、保険者のスケールメリットによる基盤強化や安定化を図ることを目的としている。砂田市議は「払える国保税にするには社会保障として公費負担を増やすべきだとして、二つの提案をしました。市は「たいへん困難」としか述べませんでした。

国保加入世帯には18歳以下の子どもは389人います。子どもにも一人あたり均等割2万9400円の負担です。子育て支援として、この分を公費で負担し、国保税の軽減を図る。

来収入となるはずだった国保税が2500万円も減らされている。この分を約3900世帯の国保加入者に、1世帯平均6400円を上乗せしている。これを一般会計からの繰入で負担し、国保加入者の負担を軽減する。

## 9月議会報告 砂田市議の一般質問

### 北朝鮮の暴挙に断固抗議 米朝直接対話による 平和的外交的解決を

砂田市議は、国連決議を無視してミサイル発射や核実験を繰り返す北朝鮮の暴挙は許すことができない、断固として抗議すると述べました。

また桜井市長が9月議会冒頭の提案理由説明で、「政府の断固たる対応」を求めると述べたことについて、その真意を質しました。市長は「国連決議をもって北朝鮮の政策を変えるということを期待している。今回の制裁決議によって私自身はある意味、外交に着地点を見いだせたのではないかなと思

### 安倍政権の「対話拒否」「軍拡対応」は 世界の流れに逆行

ところが安倍政権は「対話のため」の対話は意味がない」として軍拡に逆行していると批判しました。

## 「憲法と日本の安全保障」を考える

### 憲法を語るつどい

「けんぽう小矢部 発行10周年記念として、憲法を守る小矢部の会は9月9日、石動ミニシアターで青島明生弁護士を講師に迎え、憲法を語るつどい「憲法と日本の安全保障」を開きました。

### 安倍「加憲」の危険

「災害救助する自衛隊から」「戦争する自衛隊」

青島弁護士は憲法9条について、第1項戦争放棄は国連憲章にも、韓国の憲法にも書かれていますが、第2項戦力の不保持「陸海空その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」は日本だけだと、その特徴を紹介しました。

安倍首相が5月3日に「憲法9条1、2項を残して自衛隊を憲法に書き込む」との修正提案をしたことについて、単に災害救助に奮闘する自衛隊を合憲としようなどと



憲法9条を変えて、「戦争する自衛隊」にしているのですか

販売価格 1冊100円(税込) 送料は別途、ご注文者負担

申し込み先 憲法会議 FAX 03-3621-5453 Email mail@kenpoukaigi.gr.jp